

# 力を合わせ希望を持てるまちへ



# 未来へつなぐ

さくら会メンバーのごあいさつ



おしお とよゆき  
**押尾 豊幸** 議員

佐倉市の活性化を推進する基本は、「人」と考えます。定住・流入人口の増加要因を的確に把握し、観光や商業等の事業や地域の実情に合った人の流れを創る施策を進めます。



なかむら こうじ  
**中村 孝治** 議員

選挙権年齢が引き下げられて初めての選挙が行われました。次代の主役である若者を含め、多様な意見に耳を傾け、魅力あるまちづくりに努めてまいります。



むらた じょうじ  
**村田 稔史** 副議長

是々非々の姿勢を貫き、役所体質からの脱却を早期に実現することも、議会が行政の監視役として、その役割を確実に果たせるよう活動していきます。



かわなべ みる  
**川名部 実** 議長

10年後は3人に1人が高齢者になる超高齢社会を迎えます。それに向け、市民誰もが安心して暮らせる社会を目指し、建設的な議論・政策提言をしていきます。



さくらい みちあき  
**櫻井 道明** 幹事長

我々市議会が今抱えている喫緊の問題は人口減少問題であります。少子高齢化対策として若い力を佐倉市に迎え入れるために、順天堂大学誘致に全力を注ぎます。



せいみや まこと  
**清宮 誠** 会長

孟蘭盆会  
縁無き蜻蛉の運ぶ歴史  
新盆の席へ、見なれぬ蜻蛉や蝶が飛来すると、去った後に、皆が啓示を受けたようになることが多いとか。基本構想は、生きている歴史を語る時だと、蜻蛉に教えられた。



しきね ふみひろ  
**敷根 文裕** 議員

佐倉市は高齢化問題も課題ですが他市へ出てしまいう若者世代の減少が止まりません。私の同世代が安心して佐倉市に戻って来れる魅力あるまちづくりを目指します。



たかぎ だいすけ  
**高木 大輔** 議員

議会質問では、佐倉市が選ばれたまちとなる様、シティプロモーション、地域間連携子育ての充実、内なる国際化・多様化する人権問題に取組み、今後も佐倉市の問題解決に向けて実態を調査し活動して参ります。



ひらの ゆうこ  
**平野 裕子** 議員

市民がいつまでも安心して生活していくためには、少子高齢化対策は喫緊の課題であり、積極的な取り組みが重要です。福祉施策や子育て環境の充実を努めてまいります。



ためだ ひろし  
**為田 浩** 議員

見られるから見えるへ：聞けるから聞こえるへ：積極的な情報発信を心がけ市民の皆さんからのおもいは、ひとつひとつ丁寧、しっかりと対応してまいります。



いしわた やすお  
**石渡 康郎** 議員

国の重点施策を念頭に、少子高齢化対策、地域の活性化対策、防災防犯対策など、市民が必要とする様々なまちづくりの実現に、取り組んでまいります。



やまぐち ぶんめい  
**山口 文明** 議員

佐倉のポテンシャルを内外に発信。スポーツ振興で健康寿命増進と医療費削減。誇りと希望の持てる持続可能なまちづくり。もつと住みよいわがまち佐倉を皆さんとともに。

# さくら市議会議員の一般質問

2月定例議会

## 代表質問



中村 孝治  
議員

### 当初予算案の概要について

28年度予算案の概要は。

答 一般会計の予算規模は、4億6300万円、前年度比1.0%の減少。(肉付け後の6月補正予算と比較)特別会計は6会計合計で354億8千578万2千円、前年度比2.1%の増加となっている。定住人口の維持・増加を目指し策定した佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業に積極的に取り組む内容とした。

### 東京オリンピック・パラリンピックについて

問 東京オリンピック・パラリンピックの開催をどのようにまちづくりにつなげていく考えか。

答 今後、東京オリンピックのほか、ソフトボールやラグビーの国際的な大会が日本で開催されることから、昨年の北京世界陸上選手権大会でアメリカ選手団の事前キャンプ地となった経験をいかして、様々な競

技団体の事前キャンプを誘致し、まちの活性化につなげていきたい。

また、パラリンピックに向けた取り組みとしては、ブラインドサッカーにも使用できるよう整備した岩名球技場を試合や練習で使っていたくことで障害を持った方との共生社会の実現にもつなげていきたい。

### 大学誘致について

問 歴史的に縁のある順天堂大学を誘致する意義をどう考えているか。

答 大学の誘致は、人材育成や文化・学術の振興、地域の活性化など様々な効果が期待できるものと認識している。大学の歴史的背景に鑑み、進出は歓迎する。佐倉市大学等の誘致に関する懇話会の意見を十分踏まえ、議会、市民の理解をいただきながら事務を進める。

### 社会教育施設の整備について

問 佐倉図書館の整備について、さくら市では単に図書館を整備するだけでなく、市民の利便性向上やまちの活性化が図られる取り組みが重要と主張してきた。地域の核となる施設として整備すべきと考えるがどうか。

答 市民に必要とされる図書館サービスや運営形態、新町エリアにかつての賑わいを取り

戻すための新たな拠点の創造といった様々な観点での検討が必要と考えており、全庁横断的な体制での検討を指示している。

2月定例議会

## 個人質問



高木 大輔  
議員

### シティプロモーションについて

問 定住人口、交流人口の確保のために「佐倉市のもっといいシティアイデンティティ(佐倉らしさ)」を確立していくことが大切だと考えるが、どのように取り組んでいるのか。

答 佐倉らしさの洗い出しを行い、市民のご協力、民間ノウハウを活用してわかりやすい形に磨き上げ、ブランド化を図っていく。

問 千葉市が、今取り組んでいます「千葉開府890年事業」ですが千葉氏は本佐倉城に地盤を置いて、戦国時代活躍した武将でもあり千葉市との連携はどのようになっているのか。

答 千葉氏は、最後の本拠地を本佐倉城としていた経緯もあり、佐倉市には千葉氏ゆかりの史跡が数多く残っているなど、定住人口、交流人口の維持増加等を目指し、情報発信に積極的に取り組んでいるこ

とから、千葉市など関連自治体との連携した取り組みを推進して行く。

### 赤ちゃんの駅設置について

問 授乳室やおむつ替えスペースの施設の名称が公共施設など幾つか名称があり、施設機能の基準を設け市内の商業施設などの施設名称を「赤ちゃんの駅」に統一し、市内の施設の子育て施設を充実させていくことについて考えを問う。

答 今年度から、「赤ちゃんの駅」制度を導入した厚木市などの取組みの事例を参考に検討して行く。

6月定例議会

## 個人質問

### 観光政策の強化について

問 国が推進している「観光立国」に向けて、まずは、市民に佐倉市の観光資源を知ってもらうため、施設の無料開放などの取組みが必要と考えるが考えを問う。

答 市民に施設を理解して頂くことが、観光につながると考え、今後、検討していく。

問 観光を推進していく上で、観光協会の強化が必要だと考えるが、現在、職員が1名で残りの業務をパートで補う状況では、観光の推進がはかれないと考える、今後、人員と予算の増強が必要と考える。

### 多様化する市民対応について

問 現在、佐倉市では約2400名の外国籍の方々住民登録をしているが、少子高齢化において人口減少対策としての外国人定住を視野に入れる必要が出てくると考えるが考えをお聞かせください。

答 現在のところ、人口減少への対策としての外国人人口をふやす取り組み、施策等についてはございません。

問 今後、国が示している、国際化、オープン化、交流推進、観光立国、東京オリンピックに向け、外国人に選ばれる政策が必要と考える。

問 LGBT(性同一性障害)についてどのように対応しているのか。

答 人権・教育の場において、尊重していく。

2月定例議会

## 個人質問



平野 裕子  
議員

### ダブルケアについて

問 出産、育児とともに親の介護にかかわる人が増加している現状を踏まえ、対応を伺う。

答 国での調査結果や先進市の取り組みなどについて情報収集に努める。また、それぞれの家庭の事情に合わせて適切かつ包括的な支援を提供できるように、関係機関との連携を進めていく。

### 高齢者福祉施策について

問 多様化してくる高齢者問題をどのように考え、施策を展開していくのか伺う。

答 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていただくよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を中心に、高齢社会に対応したまちづくりを推進する。

### 佐倉図書館について

問 抜本的な建て替えを望むが、早急な実施が困難ならば、トイレの洋式化やおむつ交換台の設置をすべきと考えるが。

答 新町の活性化という視点を大事にしながら整備に向けて検討する。トイレは現状施設を部分改修して、洋式化を進める。

トイレの洋式化は、早期に実現していただいた。

図書館が本を貸すだけでなく、様々な機能を複合して人が集まるような施設として整備している事例を目にします。建替えの際には、まちの活性化に資する施策としての検討を提言します。

# 6月定例議会 代表質問

## 重点施策の推進について

**問** 後期基本計画及び創生総合戦略に掲げている重点施策を、どのように推進していくのか。

**答** 一つ一つを丁寧に、総力を挙げて推進する。立地環境や他市にはない本市固有の資産を最大限に活かしたまちづくり、花やスポーツを活用したイベント、既存事業の更なる充実、日本遺産などを活用して新たな事業にも取り組んでいく。

## 子育て世代の希望を叶える施策

**問** 子育て世代包括支援センターの今後の展開は。

**答** 不安や負担感を抱える母親への支援「ママの心の相談室」の実施等、利用者ニーズの把握に努め、センターの適正な箇所数、増設についても検討する。

**問** 保育園の整備について、関係者にご理解いただく為に市はどのような取り組みをされているのか。

**答** 保育園を整備する事業者とともに保育園を利用する方、近隣関係者の方々に、保育園の必要性について丁寧に説明し、ご理解と協力をお願いしていく。特に保育園建設予定地の近隣の方々には、地域の実情に応じ早い段階から建設についての説明を行う。

## 高齢者福祉施策について

**問** 総合事業では、訪問介護の一部が全国一律の基準により提供されるサービスから、市町村の定める基準により提供されるサービスに変わる。来年度4月からはどのように変わるのか。

**答** 市においては、現在受けているサービスを引き続き利用できるように、現行と同等の基準により行うサービスを設定する。新たにサービスの提供に当たるヘルパーの資格や人員等の基準を緩和したサービスも設定していく方向で検討していく。

**問** サービスの低下にならないことは勿論のこと、制度の変更がプラスに働くような仕組みづくりに努め、一人一人に寄り添ったサービスの提供に期待する。

## 安全安心なまちづくりについて

**問** 今後の本市の災害対策は。

**答** 今後、公共施設の改築や大規模改修時には防災機能を高める施設整備を進める。災害時に地域の方々が協力して迅速に行動できる体制づくりを進める。

## 順天堂大学誘致について

**問** 市長の意気込みは。

**答** 議会での意見書採択を重く受け止め、今までのスピード感を持って誘致交渉を進める。

# 6月定例議会 個人質問



為田 浩  
議員

## 防災対策・減災対策について

**問** 防災備蓄倉庫、備蓄量について少ないと感じる。より充実すべきと考えるがいかがか。

**答** 災害時における物資や食料の供給についての応援協定で円滑な支援が受けられるよう実効性を確保していく。

**問** 防災井戸を増設すべきと考えるがいかがか。

**答** 今後、指定避難所における防災井戸の増設を検討していく。

**問** 耐震診断の必要性について対象者にはしっかり伝え、必要に応じて改修してもらおう流れ、国が示す耐震化率をクリアする為にどのような取り組みをされているか。

**答** 市主催の各種イベントへの出展のほか、地域回覧などの活用を含め、耐震補助事業の周知、啓発に努めていく。

**問** 災害対策を実施していくためのマニュアル等の整備状況についてどのようなになっているか伺う。

**答** 今年度、職員向けの業務継続計画を策定していく予定。

**問** 危機管理体制の一層の充実強化を図るために今年度、市民部防災防犯課を部相当の危機管理室へと改めた。災害対策本部機能の強化を具現化するためには他市においても採用が進んでいる、外部からのかかるべき方の招聘をすべきと考えるがいかがか。

## 6月定例議会 個人質問



敷根 文裕  
議員

## 若者世代の減少について

**問** 佐倉市の人口はH19年から人口は約17万人と横ばいだが世代別で見ると0〜30歳の若者世代が8360人も減少している。このような状況において市は、若者世代を増やすためにどのような政策を考えているのか伺う。

**答** 若者世代の転出抑制には市内での雇用拡大や就業支援、婚活、住宅世帯、子育て支援の拡充が大事だと考えている。住み続けたい街を目指したいと考えている。

## 市内、小中学校の設備や環境について

**問** 市内の小中学校へのエア

コン導入について予算との兼ね合いもあるが近隣市はすでに終えている所が多い。エアコン導入時期や学校トイレの洋式化はいつ頃になるのかを伺う。

## 選挙について

**問** 高松市で職員が特定候補の票を捨てるなど不正選挙があった事が発覚した。民主主義の根幹を揺るがす事件が記憶に新しい中、市民から疑われるような人選は避けるべきではないか。今後はどうするのか？

**答** 違法ではないと考えるが、公平な選挙執行に疑念を持たれないよう、今後考慮する。

## 6月定例議会 個人質問



清宮 誠  
議員

後期基本計画を、佐倉の自然・歴史・文化の視点から組立てることは、それぞれをクロスさせて考える必要があるという視点から、質問を考えた。現実的には、生活保護率6.4パーセントの現状を重く捉え、レ

ド・リスト上の動植物を顕在化させる日常的な環境保護、歴史から学ぶ先見性の再評価、大学との連携を生かし、歴博や草ぶえの丘との更なる活用をベースとした内容だった。時間の関係もあり不十分で意を尽くせなかったことは、次回に展開したい。

## 後期基本計画について

**問** 後期基本計画の推進にあたり、重視していることは何か。

**答** 出生率好転と、20代〜30代転出超過ゼロを目標とし、その実現に向けた取り組みを進める。

**問** 政策分野を超えた連携が重要と考える。取り組みを伺う。

**答** 政策あるいは所属を超えた単位での事業計画等の立案を積極的に推進し、複雑化する地域課題の解決に努める。

## 環境問題について

**問** 多種多様な生物が住む環境を引き継いでいくため、自然環境の保全・活用について伺う。

**答** 環境基本計画や谷津田環境保全指針を踏まえ、谷津田等の生態系の保全、印旛沼の水質改善を進めている。

## 人口減少への対応について

**問** 若い世代を呼び込むための施策について伺う。

**答** 市内の雇用拡大や就業支援、住宅施策等の施策を有機的に組み合わせ実施していく。

# さくら会の意見

## 議案第1号、平成28年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

歳入は、国庫補助金、県支出金の増額が主なものであり、歳出は、民間保育園の施設整備に対する助成並びに、0歳児に対するB型肝炎ワクチンの定期接種に伴う経費が主なものであった。

民間保育園の補助は、志津地区及び寺崎地区に開園予定の保育園2園の開園並びに、佐倉くろみ幼稚園が、認定こども園に移行することに伴う補助である。

この3園の開園で280人程度の園児の受け入れが可能となることから、待機児童の解消が図られ、子育て環境が充実するものと考ええる。

B型肝炎ワクチンの定期接種勧奨にあたっては、副反応等の情報提供を提供者に対して適切に行っていたこと、この意見も提出されたが、合計3回、0歳児に接種することで、相当程度B型肝炎が予防できることから、必要な事業であると考ええる。

また、その他の事業についても、県支出金等の補助金を活用し、市の活性化に資する事業が計上されているものと判断したことから、賛成するものとする。

## 議案第2号、佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について賛成

これまで、臼井地区にはコミュニティセンターはなく、多くの市民がその設置を望んでいたものであり、臼井地区の文化活動の拠点となるだけでなく、市内全域からの利用が期待されることから、賛成するものとする。

## 議案第3号、佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について賛成

本条例の改正により、小規模保育事業A型及び、利用定員20名以上の事業所内保育事業所では、保育士資格がなくても、研修を受けることで、保育士と見なすことができようになる。

安心して保育を行うことができる環境・体制を整えるためには、保育士不足の解消が必要不可欠である。ただし、幼稚園及び小学校の教諭等の免許は、保育と重なる部分が皆無なので、十分な研修体制を整えることが前提となるが、本改正により、保育士の増員が期待されることから、本改正に賛成するものとする。

## 議案第7号、副市長の選任について賛成

本議案は、利根基文氏を副市長に選任するため、議会に同意を求めらるものである。利根氏は、平成27年4月より、農林水産省より産業振興部の理事として着任され、これまで市の産業振興に尽力されてきた。今後も、こうした種々の経験を活かして、活躍が期待されることから、賛成するものとする。

## 陳情第9号、難病・疾病対策の充実に対して国等への意見書の提出を求める陳情書に反対

本陳情は、線維筋痛症や筋痛性脳脊髄炎など、指定難病となっていない難病・疾病を抱える患者に対し、医療費の軽減等を要望する意見書の提出を求めるものである。

難病支援制度の谷間に置かれた方への支援を考へることは、自治体の責務と認識している。しかし、線維筋痛症など、病態が解明されていない研究段階にある疾病は、支援者を特定する基準を設定できないのが現状である。必要な支援は、基準が明確となった後、実施することが望ましいと考え、不採択とするものとする。

### 5月臨時会

## 市議会議長に川名部実議員 副議長に村田穰史議員を選出

佐倉市議会5月臨時会が5月18日に開かれ、4議案すべてが、原案通り承認・同意されました。また、これに先立ち、議長・副議長の選挙が行われ、議長に川名部実氏、副議長に村田穰史氏が選出されました。このほか、常任委員、議会運営委員が新しく選出されました。

### 会派・各常任委員会等 議長 川名部実 副議長 村田穰史

委員会 会派	総務 常任委員会	文教福祉 常任委員会	経済環境 常任委員会	建設 常任委員会	議会運営 委員会	議会改革 推進委員会	広報公聴 委員会
さくら会	高木大輔 川名部実 ◎中村孝治	○爲田 浩 山口文明 ◎※清宮 誠	敷根文裕 ○平野裕子 ◎押尾豊幸	○石渡康郎 村田穰史 ◎櫻井道明	○高木大輔 櫻井道明 押尾豊幸 ※清宮 誠	敷根文裕 平野裕子 ◇川名部実 ◎※清宮 誠	○敷根文裕 平野裕子 爲田 浩 石渡康郎
公明党	○久野妙子	小須田稔	※森野 正	岡村芳樹	◎※森野 正	○小須田稔 ※森野 正	◎岡村芳樹
のぞみ	徳永由美子	斎藤明美		※橋岡協美	徳永由美子	※橋岡協美	徳永由美子
市民ネット ワーク	大野博美	※伊藤壽子		五十嵐智美	五十嵐智美	※伊藤壽子	五十嵐智美
日本共産党	※萩原陽子		木崎俊行		木崎俊行	※萩原陽子	木崎俊行
会派に属さない議員		藤崎良次	山本英司 望月庄子	富塚忠雄			山本英司

議員番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

### 組合議会・委員会等 ◎議長

印旛衛生施設管理組合	伊藤壽子、村田穰史
印旛利根川水防事務組合	森野 正
佐倉市、酒々井町清掃組合	岡村芳樹、櫻井道明、清宮 誠
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	爲田 浩、富塚忠雄
佐倉市八街市酒々井町消防組合	久野妙子、小須田稔、中村孝治
千葉県後期高齢者医療広域連合	清宮 誠
印旛郡市広域市町村圏事務組合	川名部実（議長）
佐倉市監査委員	山口文明
佐倉市農業委員会委員	櫻井道明



村田穰史 副議長  
平成19年4月初当選以来、連続3期目。この間、第54代副議長、議会運営副委員長などを務める。  
[所属会派・さくら会]



川名部実 議長  
平成15年4月初当選以来、連続4期目。この間、第57代議長、文教福祉常任委員長などを務める。  
[所属会派・さくら会]

### 佐倉市議会 さくら会

「さくら会」は、地方分権が進む中で、議員の倫理及び資質を高めて、佐倉市議会の一層の充実を図るとともに、快適で安全な佐倉市を創ることを目的とする。

「さくら会会則第3条」

- 会長 清宮 誠
- 幹事長 櫻井 道明
- 議長 川名部 実
- 副議長 村田 穰史
- 議員 中村 孝治
- 議員 押尾 豊幸
- 議員 山口 文明
- 議員 石渡 康郎
- 議員 爲田 浩
- 議員 平野 裕子
- 議員 高木 大輔
- 議員 敷根 文裕

### 編集後記



押尾 豊幸

選挙権年齢の引き下げにより、18歳と19歳の若者が新たな有権者に加わりました。今後、若者を中心に政治への関心の高まりが期待されますが、引き下げ後初めて行われた参院選では、10代の投票率は全有権者の平均より約10%低いという結果でした。こうした多くの若者に政治への関心を持つてもらえるか、我々議員はこの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

さくら会は、議会での建設的な議論や積極的な広報活動を行い、若者の政治への関心が高まる一助となるよう、努めていきます。

### 議会を傍聴してみませんか

- 議会運営委員会 …… 8月23日(火)
- 初日 …… 8月29日(月) 午後1時から
- 一般質問 …… 9月5日(月)～8日(水)
- 常任委員会 …… 9月12日(月)～15日(木)
- 決算審査特別委員会 …… 9月20日(火)、21日(水)、23日(金)、26日(月)
- 最終日 …… 9月28日(水) 午後1時から

☆日程は変更になることがありますので、議会事務局 ☎484-6279 事前にお問い合わせください。

ケーブルネット296では、初日・一般質問・最終日の模様を翌日午後5時30分から放送します。

【地上デジタル112チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

### 9月議会の予定